

はじめに 《施工後は当社では責任を負いかねます。》

※荷物が到着いたしましたら、直ちにキズの有無を確認してください。
 運送中に発生したキズ等がございましたら、運送業者から事故証明をとり、商品に添えて仕入先へお申し出ください。
 ※製造上の問題があれば、施工前に仕入先へお申し出ください。

TAC
THE ALUMINUM COMPANY LIMITED

施工前にこの説明書をよく読み、正しく施工して下さい。施工後はお客様にお渡し下さい。

○この商品は屋内用ですので、屋外や水がかかる所には使用しないで下さい。
 ○高温、高湿の環境条件では使用できません。扉の反り、変色などの原因になります。
 ○枠は水平、垂直に取付けし、ねじれがないかを必ずご確認下さい。扉の開閉に支障となる原因になります。
 ○扉に粘着テープでポスターなどを貼らないで下さい。表面が傷む恐れがあります。

安全についてのご注意。くケガや事故を未然に防止する為以下の事項を必ずお守り下さい。>

○運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、二人以上で作業を行って下さい。
 また、接着剤を使用する場合は十分な換気が心がけてください。
 ○材料の加工・切断時は周囲の安全を十分注意し、化粧シート面側からノコギリを入れて下さい。
 裏面から行いますと、化粧シートハガレの原因になります。
 ○引渡し前に工事管理者が不具合などないか必ず点検を行い、不具合が見付かった場合はその箇所を補修して下さい。

建具への金具の取付け、連結・調整は裏面をご覧ください。

マークの見方

! この表示は「必ず実施して頂く」指示内容です。

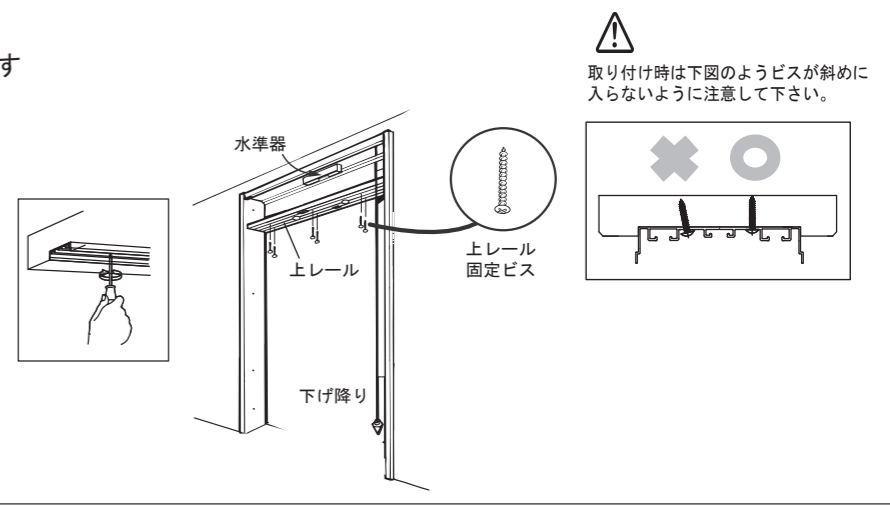
⊘ この表示の欄は「してはいけない禁止」内容です。

! この表示は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害損害の程度です。」

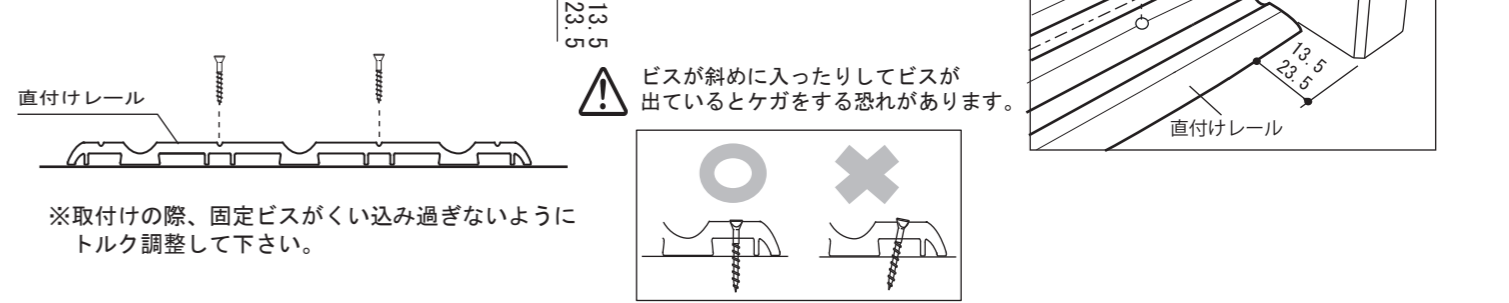
施工前の確認

○この商品は「インセット」「3枚連動」を用途とする商品です。
 他の用途として使用したり、施工説明書と異なった施工をした場合のクレームは当社では責任を負いかねます。
 ○施工時に電動ドライバーを使用する場合はネジ頭の破損を防ぐためトルクの調整をしてください。
 ○部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け十分な養生をしてください。
 ○開口部の寸法を計り、枠が正確に施工されているかご用意のサイズが適切かご確認願います。

- 3 上レールの取付**
- レール内の軸ピボット受けが戸尻側になります。ピボット受けを戸尻側になるように向けて、鴨居の溝にレールを差し込んで下さい。
 - 右図のように、付属のビスにて上レールを鴨居へ固定して下さい。
- !** ※電動ドライバー使用時、締めすぎないようにトルク調整して下さい。

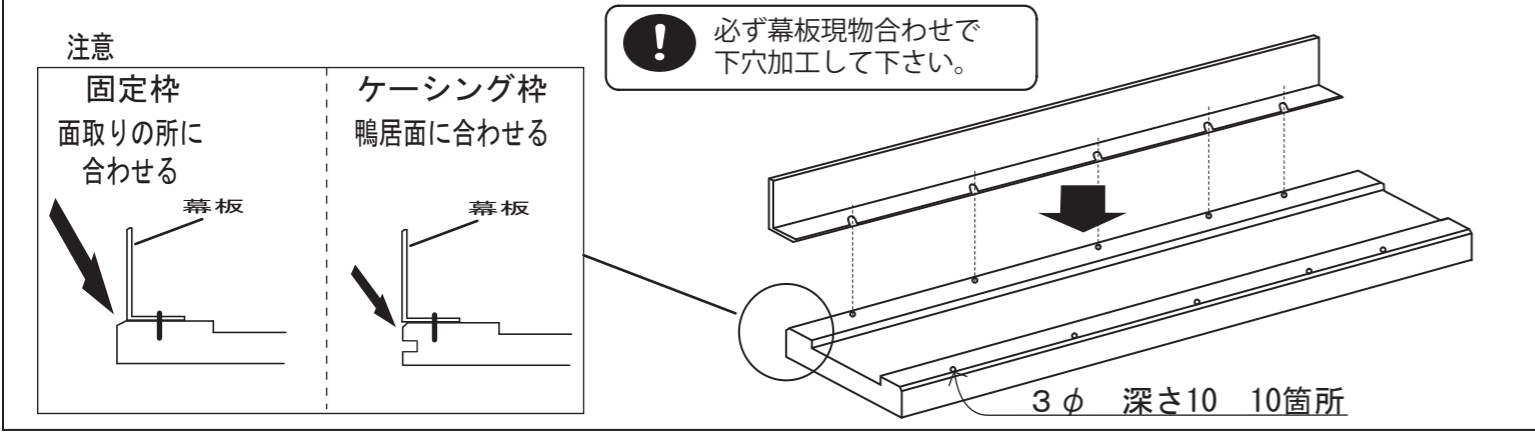


- 4 直付けレール・直付け用スペーサーの取付け**
- 付属の直付けレール固定ビスにて右図の位置にレールを固定して下さい。
 - レールを固定したら直付け用スペーサーを右図のように戸シャクリ部の隙間に取付けて下さい。



鴨居に幕板の下穴加工 (この時点では、幕板を取り付けしないで下さい。)

下記の図を参照し鴨居両側10箇所を3ミリの錐にて深さ10ミリ程度の穴加工をして下さい。



1 枠の組付け

1. 下図に従い、枠組立て・取付ビスで固定します。
 枠の組立て時、戸シャクリ用スペーサーを鴨居と左右縦枠の戸シャクリの隙間に取付けます。※図1参照

! 鴨居を固定するまぐさ部には強度が得られる下地材を必ず入れてください

2. 枠の水平垂直、ねじれに注意して、枠組立て・取付けビスにて固定して下さい。

※壁と枠の間に隙間ができたり、ぐらつく場合は右図の様に壁と枠の間にカイモノを入れて下さい。

3. 縦枠に戸当り兼用のビス隠しキャップを下図の様にはめ込んで下さい。

【ご注意】
 枠の垂直・水平を、下げ振り・水準器でよく確認して下さい。
 ※枠の水平、垂直が出ていないことが原因による不具合は、クレームとしてお受けすることができませんのでご注意ください。

※枠の垂直・水平が出ていないと
 たおれ・たいこ・つぶみ・傾き・ねじれの原因になります。

開口部
カイモノ
縦枠
ビス隠しキャップ

組立用木ネジ
鴨居
縦枠
鴨居と鴨居の固定は下図の要領にて固定して下さい。
固定用ビス
ログナット ※穴の向きに注意して下さい
組立用木ネジ
鴨居
縦枠
90°
90°
90°
対角線を同じ寸法にします。
枠組立て・取付けビス

